



友と笑顔で 20 歳の門出

平成 30 年成人式（1月7日）

▶ 恩師に花束を渡す様子



新成人の門出を祝い、今年も市内9カ所に中学校区ごとの会場を設け、成人式を行いました。

会場のひとつとなったゆめぼりすセンターでは、新成人の中学校時代の様子を映し出すスライドショーや近況インタビューなどが行われました。

また、中学校時代の恩師からお祝いのメッセージが送られ、新成人から恩師に、これまでの感謝の気持ちを込めて花束が贈呈されました。



▲この日参加した新成人は、大人の仲間入りへの決意を新たにしました。

新しい年の始まりを感じて

いぬ 戌の春展（1月12～15日）

ハイトピア伊賀で、毎年恒例となる干支の春展を行い、今年の干支の「戌」にちなんだ67点の絵馬が並びました。

そのほか、過去の戌年である昭和33年、平成18年の春展で展示された絵馬や、上野公民館サークルによる干支にちなんだ作品などを展示しました。

また、小学生以下の子どもの作品を対象とした「子どもの部」も開催し、絵の具やクレヨンできれいにぬられた絵など、かわいい作品が揃いました。

▶ 「子どもの部」の作品



▲多くの力作が並び、訪れた人は見入っていました。

ガスコンロのグリルはオーブンのように使えるんです！

レシピ紹介

「千層コイルケーキ」

●材料（6本分）

薄力粉……………70g
 ココアパウダー……………大さじ1
 ベーキングパウダー…小さじ1/2
 バター（食塩不使用）……………50g
 砂糖……………40g
 コンデンスミルク……………20g
 卵……………1個

※Aは合わせてふるっておく。

●作り方【両面焼グリル】

- ①室温にもどしたバターをボウルに入れクリーム状に混ぜる。
- ②砂糖を加えてすり混ぜ、コンデンスミルク、溶き卵を少しずつ入れ混ぜる。
- ③Aを加え混ぜ合わせる。
- ④絞り出し袋に入れ、アルミホイルに8cmくらいの長さ3本ほど重ねて絞る。
- ⑤生地が出ないようにアルミホイルを包み、両端を2回折る。
- ⑥プレートにのせて、グリルで10分（上下とも弱火）焼く。



★お好みでくるみを加えると香ばしくおすすめです！



トーストができる！

温め直しもできる！！



ノンフライ調理もできる！！



上野ガス

伊賀市上野茅町2706
 ☎0595-21-3611

<http://www.ueno-gas.co.jp>



三重平安閣グループ

伊賀斎奉閣

伊賀市西明寺 3214-1

TEL0595-24-9999

家族葬会館和ごころ壬生野

伊賀市西之澤 16-1

TEL0595-45-9990



詳しくは二次元コードを読み取りご覧ください



☎22・96366

【問い合わせ】 広聴情報課

【申込期限】 発行日2ヶ月前

【掲載料】 1枠…2万円

（縦5cm×横9cm）

【発行部数】 毎号約36,000部

【掲載可能】 ホームページにも掲載します。

【掲載可能】 市内の各戸へ配布するほか、市内の各戸へ配布するほか、市ホームページにも掲載します。

【掲載可能】 広報いが市への広告を募集しています。広報いが市は市内の各戸へ配布するほか、市ホームページにも掲載します。

【掲載可能】 広報いが市への広告を募集しています。広報いが市は市内の各戸へ配布するほか、市ホームページにも掲載します。

【掲載可能】 広報いが市への広告を募集しています。広報いが市は市内の各戸へ配布するほか、市ホームページにも掲載します。

【掲載可能】 広報いが市への広告を募集しています。広報いが市は市内の各戸へ配布するほか、市ホームページにも掲載します。

※掲載広告について不明な点は直接広告主へお問い合わせください。



服部土芳の命日に

土芳を偲ぶ俳句会 (1月18日)

上野ふれあいプラザで、土芳を偲ぶ俳句会を開きました。これは、松尾芭蕉の伊賀門下の中心人物として活躍し、芭蕉の俳論を後世に残した蓑虫庵主 服部土芳を偲んで毎年行っているものです。

参加者は、事前に投句した作品の中から良いと思った句を3句ずつ選び、選ばれた句が読み上げられると、その句の作者が名前を名乗りました。

最後は、4人の選者から特選句各3句が発表され、選者の講評に参加者は熱心に聞き入っていました。



◀選者は、選んだ句のよかった点や選ぶポイントなどを順番に説明しました。



▲この日は25人が参加し、俳句に対する思いを深めていました。

本紙8ページの「イクボス」について、わかりやすく解説します。



こども広場

「将来働く職場のこと」

「イクボス」は部下の働き方を応援する人

「イクボス」とは、部下を育てるの「イク(育)」と、上司を意味する「ボス」を合わせた言葉です。これは、部下のために働きやすい環境をつくりながら、自分も仕事と私生活を充実させている上司のことです。市では、このイクボスのことを「ハタラクカタ応援人」と呼んでいます。

ボスの理解や協力が欠かせません

最近では、子育てや介護のために仕事をやめてしまう人が増えています。男女が一緒に子育てや介護をしながら仕事を続けるためには、その職場や上司の理解と協力が大きなカギになります。こんな時代だからこそ、仕事と私生活の両方をバランスよく頑張る部下を理解し、活躍を後押しする「ハタラクカタ応援人」が必要です。

働き方を応援することを宣言します

部下が安心して仕事を続けられるような環境づくりをみんな

に宣言することを、市では「ハタラクカタ応援(イクボス)宣言」と呼んでいます。これは、「休暇をとりやすくする」「会議を減らす」など、それぞれの会社にあった内容を決めて宣言するもので、市では2016(平成28)年にこの宣言を行いました。

仕事を続けやすい環境を選ぶために

子育てをする男性を「イクメン」、育児に関わる祖父を「イクジイ」、地域に関わる男性を「イクメン」と呼ぶなど、男性と育児や地域とのつながりを積極的に応援する言葉がはやっていきます。これらを単なる流行語で終わらせずに、皆さんが働く頃には男性も積極的に育児や介護に参加し、男女ともに仕事を続けやすい環境になっていくことを期待したいですね。

そして、職場を選ぶときは「ハタラクカタ応援(イクボス)宣言」を行って真剣に取り組んでいる会社かどうかのひとつの目安にしてみましょう。

【問い合わせ】 人権政策・男女共同参画課

☎ 22・9632 FAX 22・9666

お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかど通信

コラム

図書・救急など